

# 雄大な自然と農の力「明野地区」



写真：八ヶ岳とレタス畑

## 明野の魅力とは

山梨県北西部に位置する北杜市明野地区は、茅ヶ岳西麓の緩やかな傾斜地に広がる畑地帯です。この地域では、古くからレタス、だいこん、桑などの畑作営農が展開されてきました。

現在は、日照時間日本一という好条件のもと、広域農道や畑地かんがい施設の整備により、北杜市の農業を支える、一大産地となっています。

明野地区の優良農地では、サンフラワーフェス、浅尾大根まつり等のイベントも開催されるなど、県内外からの多くの観光客を楽しませています。

また、日本百名山の八ヶ岳を始め、甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山などの山岳景観にも恵まれ、明野地区の農と自然が作り出す雄大な景色は、訪れる人々を魅了しています。



## 観光と連携した取組

明野地区では農業だけでなく、「観光農園」や「明野サンフラワーフェス」など地域のイベントが開かれ、年間50万人の来客を数えています。



明野サンフラワーフェス



観光農園



第10回やまなし農村風景写真コンクールより

## 新たな担い手

明野地区の魅力に引かれるのは、観光客だけではなく、日照時間日本一などの気象条件に加え、ほ場整備により大区画化された農地や、農作物に水を供給する畑地かんがい施設が整備され、安定した農業用水の確保が可能であることで、農業に参入する企業等、多様な「担い手」が増えています。

栽培されている作物の種類は多く、醸造用ブドウやトマト、パプリカなど、そのどれもが高品質で、県内外へと出荷されています。

企業が農業参入することで、農業を未来へ残すための後継者「担い手」になることだけでなく、そこで働く人が必要になるため、新たな雇用が生まれるなど、多くの効果が期待されます。いま、農業をとりまく情勢は、農家の高齢化や後継者不足、農地に草木が生い茂る耕作放棄地の増加など、多くの課題が発生しています。明野地区では、多くの企業が農業に参入することで、このような課題を解決するために必要な「新たな担い手」の形が作られています。

整備前の耕作放棄地



整備後の大区画農地



写真:醸造用ブドウ



写真:甲斐駒ヶ岳・鳳凰三山を望む

